

## 令和 6 年度簡易水道事業予算の概要及び経営方針について

### 1 予算の概要について

令和 6 年度住田町簡易水道事業予算における業務の予定量及び予算額は以下のとおりである。

(業務の予定量)

- (1) 給水件数 1,580 件
- (2) 年間総給水量 330,000 m<sup>3</sup>
- (3) 一日平均給水量 904 m<sup>3</sup>
- (4) 主な建設改良事業
  - ・金沢浄水場 原水濁度計更新工事
  - ・下有住簡水 加圧ポンプユニット更新工事
  - ・簡易水道事業アセットマネジメント計画策定業務 ほか 28,274 千円

(収益的収入及び支出)

水道事業収益 157,290 千円

(営業収益 72,084 千円、営業外収益 85,204 千円、特別利益 2 千円)

水道事業費用 140,147 千円

(営業費用 131,527 千円、営業外費用 7,420 千円、特別損失 200 千円)

(資本的収入及び収支)

資本的収入 37,014 千円

資本的支出 96,861 千円 (建設改良費 28,274 千円、企業債償還金 66,587 千円)

### 2 経営方針について

住田町簡易水道事業における経営方針は「サービス水準の向上と経営基盤の強化」、「計画的、効率的な整備と高水準化」に努めることを基本とする。今後、給水人口の減少や水道料金の減収が予測される中で、安全で安定した水道水を供給し続けるために以下の 3 項目を重点に経営を実施する。

- ① 経営基盤の強化：事務事業の効率化、コスト削減により経営改善に努める。
- ② 計画的な施設整備：効率的な施設整備となるよう老朽施設の耐用年数や劣化状況を把握し、財政状況を踏まえ計画的な施設更新を実施する。
- ③ 水道サービスの充実：多様化する住民ニーズへの迅速な対応、業務状況の情報公開により水道サービスの充実を図る。